平成24年度第２回　静岡市医療関係者連絡協議会
平成24年度第１回　静岡地域医療協議会　　協議概要

１　日　時　　平成24年11月12日（月）午後７時から８時まで

２　場　所　　城東保健福祉エリア　保健福祉複合棟　３階第１研修室

３　出席者　（委員）青山茂夫委員、松永元良委員、高尾和秀委員、秋山欣三委員、保坂知彦委員、神原啓文委員、瀬戸嗣郎委員、島本光臣委員、米川　甫委員、磯部　潔委員、石塚隆夫委員、玉内登志雄委員、島田孝夫委員
（関係者）木村良一（共立蒲原総合病院長）、八木康夫（消防局救急課参与）、深津弘子（静岡市婦人団体連合会長）、竹内浩視（中部保健所長）
（欠席）日野昌徳委員、小澤照雄委員、中田　恒委員
（事務局）畑保健衛生部長、加治保健所長
村田参与兼保健衛生総務課長、藤田保健衛生総務課参事兼統括主幹

４　議　事
（１）静岡圏域の保健医療計画について
（２）救命救急センターの整備について
（３）災害拠点病院の指定について

５　会議内容
（１）静岡圏域の保健医療計画について
【説明事項】
・今回は事業内容及び関連する数値データを最新の状況に時点修正したこと、急性心筋梗塞、糖尿病、肝炎、精神疾患、災害時における医療、へき地の医療、小児医療、医療従事者の確保について、医療体制などを新たに加えたという事が主な改正点です。
・医療計画は、現状と課題、対策に分かれている。
・地域医療支援病院に静岡市立清水病院、静岡赤十字病院、静岡済生会総合病院の３病院を加え、さらに圏域の病床数や医師数等についも直近の数値に修正した。
・対策について、静岡赤十字病院の新病棟の建設、静岡済生会総合病院の救命救急センターの建て替え、静岡市立清水病院の集中治療室の整備についての記述を追加した。
・がんについては、平成22年度に実施した検診結果に時点修正し、さらに、５大がんの地域連携クリティカルパスに肝がんを追加した。
・急性心筋梗塞は、項目追加をし、医療体制の説明、早期発見、早期治療につながる知識等を記載した。
・糖尿病は、項目追加をし、同じく医療体制の説明、受診後のフォローアップ体制の充実、合併症の

発症・進行を遅らせる取組み等について記載した。

・肝炎は、項目追加し、同じく医療体制の説明と検診の啓発及び受診後のフォローアップの充実を追加した。

・精神疾患の項目については、医療体制の説明、うつ病に関する正しい知識、認知症サポーターの養成、さらに認知症疾患医療センター整備の検討について記述した。

・災害時医療の項目について、災害時における医療体制、応援派遣を担う医療機関等の記載、さらに災害時医療体制の見直し、研究を行っていくことを記載している。

・へき地医療について、へき地の医療体制及び山間地診療所への助成、山間地診療所の医師確保について記載した。

・小児医療は、項目追加し、小児医療の医療体制、専門医研修ネットワークプログラムによる医師の育成等について記載した。

・病診連携、在宅医療については、ネットワークシステムの取組状況、在宅医療の取組状況及び市民啓発について記載した。

・医療従事者確保の項目追加については、県のふじのくに地域医療センター中部支部の活動状況、静岡市の公的病院の医療職確保事業に対する支援制度について記載した。

・専門用語や分かりにくい言葉については用語解説を加えた。

・今回の改定については、時点修正、一部の見直しということで対応した。

【意見及び要望等】

・糖尿病のところに徳洲会病院が病診連携と記載されているが、入っていないと思います。

◎「静岡圏域の保健医療計画の修正」について了承された。

（2）救命救急センターの整備について

【説明事項】

・厚生労働省医政局長通知（平成 24 年３月 21 日）に対応し、県立総合病院が「基幹災害拠点病院」の指定を継続させるため、「救命救急センター」の指定申請を行うことになった。

【意見及び要望等】

・全国の救命救急センターの指定状況（該当要件の有無）はどうなっているのか。

・静岡市立静岡病院としては、救命救急センターの指定申請をする意向がある。

◎「救命救急センターの整備」について了承された。

（3）災害拠点病院の指定について

【説明事項】

・近い将来発生が予測される東海地震に備え、耐震化の推進、非常時備蓄の強化など病院機能を高めてきた静岡市立静岡病院が「災害拠点病院」の指定申請を行うことになった。

【意見及び要望等】

・災害拠点病院の指定について、病院だけでなく、市、県も積極的に厚生労働省に働きかけるべき。
・災害拠点病院の指定を受けるため、優先的にDMATの研修を受けられるよう厚生労働省に要望してほしい。
・厚生労働省は年間に全国で30チームDMATの研修を行っていると聞いている。県内では３チームが研修を行っており、優遇されているようだが、いくつも待っているところがある。年間30チームでは困るので、研修チーム数を増やすよう厚生労働省に要望してほしい。
◎「災害拠点病院の指定」について了承された。